

令和3年度住まい環境整備モデル事業 主な変更点

次の2つの事業が新たに追加されました。

- 「課題設定型」の事業テーマに、「子育て世帯向け住宅の整備」を追加
今年度のモデル事業の応募対象に、新たに「子育て世帯向け住宅の整備」が加わる

- 新型コロナ対応の取組を迅速に支援するため、新たな事業タイプ「特定課題対応型」を新設
新型コロナの影響による生活困窮等へ対応のため、空き家の活用を支援する事業を新設。

●赤字が今年度追加する事業内容

事業内容

①課題設定型 設定された事業テーマに応じた先導的な取組への支援を行う事業

<事業テーマ(イメージ)>

- 1. 子育て世帯向け住宅（子育て支援施設、ひとり親向けシェアハウス、IoT活用等による子供の見守り、こども食堂など）の整備
- 2. 多様な世帯の互助を促進する地域交流拠点（共同リビング、こども食堂、障害者就労の組合せなど）の整備
- 3. 効果的に見守る高齢者向け住宅（IoT活用等による効率的な見守り、地域の高齢者の見守りなど）の整備
- 4. 長く健康に暮らせる高齢者住宅（仕事、役割、介護予防、看取りなど）の整備
- 5. 早めの住み替えやリフォームに関する相談機能（高齢期に適した住まいや住まい方のアセスメントなど）の整備
- 6. 住宅団地の再生につながる地域の居住継続機能（子育て支援施設、多世代交流拠点、シェアオフィスなど）の整備

②事業者提案型 事業者が事業テーマを提案して行う先導的な取組への支援を行う事業

③事業育成型 上記①②の事業化に向けた、調査・検討を支援する事業

● ④特定課題対応型 **新型コロナの影響による生活困窮等に対応するため、空き家等の改修による住まいの提供と、見守りや自立支援を併せて実施しようとする取組への支援を行う事業**